

先生各位

「SARS-CoV-2 S(スパイク)蛋白 抗体検査」 新規受託開始のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、下記に掲げる検査項目につきまして、新たに受託を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

謹白

記

■受託開始日 2021年 10月 11日 (月) ご依頼分より

■受託開始項目

項目コード 統一コード	検査項目	判断料 実施料	採取量(mL) 必要量(mL)	採取容器 提出容器	保存	検査方法	基準値	所要日数	備考
9082 5F625	SARS-CoV-2抗体 IgG(S)		血液 2	01	冷蔵	CLIA	(－) 50.0 AU/mL 未満	2～4日	★00
			血清 0.5	21					

*本検査はアボット社 SARS-CoV-2-IgG II Quantを用いた測定です。

- ※1 本検査はスパイクタンパク質S1サブユニット受容体結合ドメイン(RBD:receptor binding domain)に対するIgG型抗体を検出し、定量的に測定します。
- ※2 本検査は**研究用試薬**を用いた測定であり、本検査より得られた結果の臨床的有用性については確立されていないため、診断の目的では使用できません。
- ※3 保険対象外です。

[判定基準]

測定値(AU/mL)	判定
50.0未満	(－)
50.0以上	(＋)

ご依頼の際にはお手数ですが、検査項目に加え、項目コード“9082”もしくは測定試薬“アボット”を明記して下さい。

●SARS-CoV-2抗体 IgG(S)【SARS-CoV-2 IgG II Quant】

SARS-CoV-2ウイルスは細胞膜上の受容体に結合することで体内に侵入します。このウイルスにはヌクレオカプシドタンパク質(N)やスパイクタンパク質(S)など様々な構造蛋白が存在します。そのうちスパイクタンパク質に対する抗体は中和作用を持つ可能性が示唆され、ウイルスの侵入を阻止することが期待されており、多くのワクチンでターゲット部位とされています。

Sタンパク質に対するIgG抗体量の上昇と、中和抗体すなわち感染を阻害する特異的な抗体量の上昇との相関関係はすでに研究で示されていますが、体内の抗体量とウイルス感染の予防効果との相関関係については研究段階にあります。

ウイルスのSタンパク質と結合するIgG抗体量を特異的に測定し、ワクチンに対する免疫反応を評価する上で役立つことが期待されます。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社お客様窓口までお申し付けください。